

設楽ダムの建設中止を求める会

第43号 2016年9月15日

<http://www.nodam.org/>

第10回総会報告

2016年7月23日(土) モリトピア愛知(愛知県民の森) 第1会議室



設楽ダムの建設中止を求める会第10回総会を2016年7月23日(於:モリトピア愛知 第1会議室)開催(写真)、名古屋、豊田、豊橋、豊川、新城など約30人の会員らが参加されました。会場には豊田市の写真家安江氏による「豊川流域の美しい風景写真」が展示されるなか熱く真剣な討論と意見交換が行われました。また設楽ダム建設中止に尽力されている本村衆議院議員も参加され、今回の330億円の増額がされる基本計画の変更や国交省の様子などを話されました。

2015年度の活動報告、会計報告、2016年度予算案承認、伊奈副代長による「熊本震災現場の視察報告と設楽ダムについて」の報告は滞りなく行われました。ただし「これからの取り組みについて」は議論が白熱、具体的な運動方針の決定には至らず8月21日(日)(於:豊川市勤労福祉会館第1会議室)に再度拡大幹事会を持ちました。2回の議論を経て具体的な運動を決めることができました。

当会設立後10年を経て人も含めて社会環境に様々な変化が生じていることを実感する総会でもありました。2ページより活動報告&運動方針概要、会計報告等を掲載します。

1) 2015 年度の取組み（ふり返り）

- ・ 6. 21 第9回 総会 豊橋市民センター 5F
年会費 半額の 1000 円に（訴訟終了、若者の参加しやすい会に！）
自然学校など、参加すると楽しくてためになる活動、SNS の活用・・・
- ・ 7. 30 「健康と環境を守れ！愛知の住民いっせい行動」
愛知県知事、環境部局等に要求を出して話し合う取り組み
- ・ 8. 22 津具で料理教室（豊川流域自然学校）、F u r a t t o のインタビュー
- ・ 8. 23 豊川再生シンポジウム（豊川住民連絡会議）
- ・ 9. 20 キララの森を歩く
- ・ 10. 03～4 伊勢・三河湾流域ネットワークの山川里海セミナー
「豊川の清流と環境を見る」愛知県の助成金活用、設楽町の皆さんにご協力
いただきました。
- ・ 10. 08 活断層の専門家を訪問（山口大学）
- ・ 10. 09 地域と共同研究センターの勉強会講師（生協豊橋事務所）
- ・ 10. 31 同上、豊川～設楽ダム現地視察の案内
- ・ 11. 01 水源連総会（三重県伊賀市）
- ・ 11. 22 地質地盤問題の勉強会（豊川市内）
- ・ 11. 28～29 国土研の専門家 2 人に参加してもらって地質地盤調査の現地検討会
- ・ 11. 28 立木トラスト 5 周年記念行事、立木山めぐり＆山主さんとの交流会（松戸）

<2016>

- ・ 1. 13 活断層の専門家訪問（東洋大学）
- ・ 1. 31 伊勢湾再生シンポジウム（四日市市、じばさん）
- ・ 2. 04 山口大学（再訪）
- ・ 2. 19 愛知県議会各会派に申し入れ・要請
- ・ 2. 24 山主さんとの協議（立木トラストについて）
- ・ 3. 13 地質地盤の現地視察会（マイクロバス）
- ・ 3. 26～27 地質の専門家による露頭の巡検・鑑定
N80E56N断層露頭を見つける
- ・ 4. 12 江ヶ沢付近の不整合面の露頭確認
- ・ 6. 11 高木仁三郎市民科学基金 2015 年度助成成果発表会（京都）

2) 2016 年度の活動方針（2016 年 8 月 21 日に行われた拡大幹事会の議決も踏まえて）

(1) 設楽ダムサイト周辺の地質地盤問題に集中して取り組むことについて

基本計画の変更問題及びダムサイト周辺の地質地盤問題については、国を始め各方面に市民調査を示して申し入れ活動を行う。

1、対国交省／中部地整について

基本計画の変更について・・・住民説明会を開くよう要請します。

地質調査・・・活断層の疑いの濃い断層がダムサイト左岸斜面を通っていることが明らかになりました。活断層について、国は一次調査しかやっていません。マニュアル（ダム建設における第四紀断層の調査と対応に関する指針）に従って、二次調査を実施し、ダムサイトの選定が適切に行われたのかどうか検証するべきです。検証が済むまで、転流公・本体工事を始めるべきではありません。

本体工事を止めることに力点を置いた運動を進めて行きます。

※9 月 1 日付で国土交通省中部地方整備局 茅野牧夫局長、国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所岩崎等所長には要請文を送付しました。（5～6 ページに要請文を掲載）

2、対愛知県／県議会について（※(3)いっせい行動参加について、をご覧ください。）

設楽ダム基本計画の変更について・・・国交大臣に回答する前に、住民に意見を聴くよう要請していきます。

地質地盤・・・愛知県としても東三河～奥三河地域の活断層調査を実施するとともに、中部地整に設楽ダム予定地周辺の詳細調査をするよう申し入れすることを要請していきます。

3、対設楽町／議会について

対町長への申し入れ・・・中部地整に地盤問題についての住民説明会の開催を要請してください。

対議会・・・危険なダムは返上するよう要請していきます。

4、東三河の行政・議会について

各方面に設楽ダム予定地の地盤問題について説明するとともに、ダム事業の中止と奥三河の持続可能な地域づくりへの協力を働きかけます。

設楽ダム予定地周辺の地質ガイドⅡ

Geo Guide around the Shitara Dam Project Area

設楽ダムの本体建設が進んでいると言われていますが、ダムサイト周辺の地質地盤は大丈夫でしょうか。最近活断層の疑いの濃い東西方向の断層が見つかりました。ダムサイト付近の地質地盤の本当の姿を詳しく知ることが大事です。

○ 発見された東西走向の推定活断層（N80E56N）

設楽町田口地区西部（清崎下の沢）の露頭の写真（2016年4月2日撮影）。特徴から、縦ずれ（逆断層）の第四紀断層と推定される。西側に延伸するとダムサイト左岸上部を通る。現在はセメントでカバーされていると見えない。

なお、ほぼ平行なダムサイトを通る破砕帯が2014年度のダムサイトボーリング調査で示されており（Cz M82・M83（H26））、F-2（H10）を含めて同系統の東西走向の複数の断層がダムサイト地点を貫いているものと推定される。



○ 川の流れと断層

断層破砕帯は、容易に浸食されるので、河川流路となりやすい。設楽ダムサイト予定地付近の専断川では、上流側は南北走向のF-1（H4）破砕帯に沿い、ダムサイト部分は東西走向のF-2（H10）破砕帯に沿って流れていると考えられる。

なお、地質学的な意味で最近動いている第四紀断層の場合には、断層が横切る小川に系統的な地形の変位が認められる。

○ 古い断層と近年動いた断層

第四紀断層は地質学的な意味で最近動いたことのある断層である。一般に、古い断層と交差する場合には、新しい断層のずれによって、古い断層が切断され、変位する。N80E断層と交差する田口南西林道沿いの断層が変位を受けているようにみえる。また、南北走向のF-1（H4）断層は、東西走向の複数の断層によって変位を受けて、破砕帯が南西方向に延びているとも考えられる。

○ 二重山稜地形

尾根が縦に裂けたように二つに割れ、龍に線状の窪地が形成されるには、理由がある。最も考えやすいのは、断層によるずれである。ダムサイト右岸の松戸地区の場合には、東西方向に窪地が延び、棚田となっている。東西方向の高角度断層、F-2（H4）などが絡んでいる可能性がある。

○ 深層崩壊と地すべり

火山噴出物や第三紀の堆積層が基盤の上を覆っている、あるいは、断層によって基盤の深層まで亀裂が発達し、ゆるんでいるなどの地質構造のところに、大雨や地震動がきっかけとなって、規模の大きな岩盤崩壊が起きる。これを深層崩壊と呼び、地表の風化層で発生する地すべりとは区別している。深層崩壊を防ぐ工学的に有効な手段はなく、このような場所ではダムなどの建設を避けるべきではない。

設楽ダムの建設中止を求める会 <http://www.nodam.org/>

「設楽ダム予定地周辺の地質ガイドⅡ」を発行しました。

ダムサイト付近の地質地盤がいかにか悪いかを読み取れるように作りました。

裏面にはB3判のダム水没区域全体が含まれる地図を載せました。紙版は、B4判で、写真・図が読みやすくなっています。

ホームページからダウンロードもできます。



5、水源連、公共事業チェック国会議員の会に協力を求め、国交省交渉を実施します。

(10 月末～11 月初め)

(2)立木トラスト運動について

これまで11箇所のトラスト山に約3500人の立木オーナーの参加を得て運動を進めて来ましたが、半年ほど前に、ある地区のトラスト山主をまとめてくれていた方から、「高齢化し、後継者も地元から出てしまっている。補償を受け取って、今の題でダム問題にけりをつけたい。ダム建設に反対しないこととし、地区全体で立ち木トラストから撤退することを決めた。」との連絡を受けました。

この意思表示を受けまして私たちは「名札を付けた立ち木についてはそのままにしてほしい。」と要請しましたが、山主側は名札を取り外してほしいとの意向でした。そこで7箇所の立木山の名札と看板をはずし、残る4箇所の立木山に移設し、傷んだ木札の新調など準備が整い次第、今冬から順次、4箇所の山に木札を付け替えて行くこととします。

このことについて該当する立木オーナーの皆様に了解を得ることとします。

(3) いっせい行動実行参加について

「健康と環境を守れ！愛知の住民いっせい行動デー」実行委員会主催

愛知県との話し合いに参加します。10月11日11:00～15:00

愛知県庁にて知事（11:30～12:00）・部局（13:30～15:00）への要請を行います。11:00／自治センター12階E会議室集合

※当日はリニア中央新幹線について、など他団体の要請も行われるため当会の要請時間も数分に限られますが、知事への要請は以下口内の通りです。

- ・設楽ダム基本計画の変更について、国交大臣に回答する前に住民意見を聴いてください。2070億円から、2400億円への増額は、ダム検証の結論に対して疑いを起こさせるに十分な条件変更です。なぜ、330億円もの増額が必要なのかにつて、中部地整から精確な理由情報を聞き出してください。
- ・設楽ダムサイト直近を活断層の疑いが濃い断層が通っていることが市民調査によって明らかになりました。愛知県として、中部地整に対して詳細な地盤調査（「ダム建設における第四紀断層についての調査と対応」マニュアルに沿った二次調査）を実施するように要請してください。活断層がないとされてきた地域でも、詳しい調査をすれば存在が明らかになることは日本列島の常識です。愛知県も、事業者任せにせず、自ら活断層・防災対策を進めてください。

(4)他団体との協力関係

- ・豊川を守る住民の会・・・天然アユ再生プロジェクトへの取り組み
豊川の漁協との協力
- ・長良川河口堰を開ける運動
愛知県の連続講座、7月31日13:30～ ウィンク愛知（名古屋駅前）
- ・豊川流域自然学校
- ・豊川河口の六条潟～西浜の取り組み
- ・「三河湾を丸ごとラムサール登録湿地に」
- ・「導水路は要らない！愛知の会」
などの団体と連携して全県的な体制を作り運動を広く強く進めて行きます。

(5)組織課題について

- ・10年間の取り組みを振り返り、住民訴訟の実像を記録すること。
裁判資料をもとに冊子を作る、ということになると思いますが、これについては提案に留まり具体的な話にはなりません。審議継続中です。
- ・本年度を持って現体制を一新し、次の世代に引き渡して行きます。
- ・設楽町の若手の会員を募って、立木トラスト山の手入れと札の管理ができるように呼びかけます。

【要請文】



2016 年 9 月 1 日

国土交通省中部地方整備局
局長 茅野 牧夫 様
国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所
所長 岩崎 等 様

設楽ダムの建設中止を求める会
代表 市野 和夫

日ごろのお勤めご苦労様です。

さて、私どもは、現在進行中の設楽ダム建設事業につきまして、利水、治水のどちらから
も、必要性の乏しい事業であり、かつ環境と地域社会に与える影響の大きさから、中止する
べき事業であるとみなしております。

今回は、以下の 2 点の事項につき、遅滞なく文書にてご回答をいただきますよう要請いた
します。

要 請

1 設楽ダム基本計画変更の問題について

設楽ダム基本計画の第 1 回変更の提案（建設費用 2070 億円から 2400 億円への増額、工期を
2026 年まで 6 年延長する）について、住民説明会を開くよう要請します。

2008 年公示の設楽ダム基本計画において、建設費用は 2070 億円とされており、検証の場
においてもこの金額が確認され、その建設費用がもっとも重要な判断材料の一つとされ、「河道
掘削と霞堤の組み合わせ」などの案より 20 億円少なくなるという理由でダム案が採択されま
した。

http://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/dam_kentou/pdf/shitara05_shiryou03.pdf

今回のように 330 億円もの費用増額については、振り出しに戻ってダム事業を見直す議論をし
なければなりません。住民（とりわけ負担の大きい愛知県民ならびにダムの影響を受ける豊川
水系～流域住民）に対して変更の理由を明らかにする説明会を開くよう求めます。

2 設楽ダム計画地および周辺の地質調査の問題について

添付資料「設楽町田口西部地区の道路工事で現れた断層について」は、高木仁三郎市民科学
基金の 2015 年度助成を受け、活断層の専門家を含む複数の地質学の専門家から助言を得つつ実
施した市民調査の結果をまとめた報告の一つです。活断層の疑いの濃い断層がダムサイト左岸
斜面を通っていることが明らかになりました。

国（建設省／国土交通省）は、ダム事業の最も初期の段階、予備調査の期間に実施するべき
ものとして、ダムサイトの選定段階において、工学的に注意すべき第四紀断層（活断層）の存
否を判断しなければならないとし、その手順を取りまとめた指針「ダム建設における第四紀断層
の調査と対応に関する指針（案）」（昭和 59 年 3 月、建設省河川局開発課）を示しています。
事業者である国（中部地整）は、平成 4 年～9 年度のダムサイト選定にかかわる調査において、
文献調査・航空写真による線状模様の抽出と現地踏査からなる一次調査は実施しましたが、詳細
な調査はやっていません。したがって、ダムサイト並びにその近傍に、第四紀断層の疑いのある

断層や線状模様が見つかった場合には、二次調査を実施し、ダムサイトの選定が適切に行われたのかどうか検証する必要があります。

上記指針のまえがき部分の記述（以下引用）「ダムは、人工の構造物としては最も大きなものの一つであり、長期にわたりその効用を発揮する施設である。また、大量の水を貯留するため、一旦事故が発生するとその影響は甚大であるので、安全性の確保には十分考慮を払わなければならない。このため、ダムの基礎地盤の安定性については、古くから慎重な調査検討が行われ、可能な限り良好な地点にダムを建設するべく万全の努力が払われてきた。・・・」のとおり、文字通り万全の努力を尽くすことが求められています。台湾地震では、活断層によりダム本体が破壊されました。今回の熊本地震でも立野ダムが完成していたらどんな結果になっていたか分かりません。

ダムサイトの位置を選定する予備調査段階で済ませておかねばならない課題がまだ済んでいないことが明らかになったのですから、二次調査による検証が済むまで、転流工・本体工事に手をつけることはできないことは明白です。

なお、設楽ダムの地質調査の問題点は、断層のみではありません。ダムサイト上流左岸の一带は第三紀の堆積層が基盤を不整合に覆っている地質であり、地すべり、漏水、地下水異常など、ダム湖の湛水によって深刻な問題が生じる恐れのある場所です。さらに、国の調査報告書に描かれている不整合面の見積もりは、大幅な誤りを含んでいることも明らかになっています。

まずは、工事を一旦中止し、活断層についての詳細な調査を実施するとともに、これまでの地質地盤調査全体を見直してください。

このまま、工事を進めた場合には、建設費の大膨張と、設楽町や新城市などの豊川流域住民の安全な生活と生存権を脅かすことになります。

以上



（写真は総会の翌日7月24日に行われた愛知県民の森を歩く《豊川流域自然学校》の一コマ。総会終了後参加した会員の一部は会場となったモリトピア愛知に宿泊。市民団体豊川流域自然学校が主催する「愛知県民の森を歩く」に参加しました。下石の滝～亀石の滝の約4キロを歩きました。）

2015年会計報告
入金

摘要	金額
前年度繰越金	284,179
会費	136,000
カンパ	180,827
立木トラスト参加料	17,000
パタゴニア基金	354,359
合計	972,365

総会で配布しました会計報告には、高木仁三郎基金助成金の30万円を「入金」に計上していましたが、別途で収支報告を行うことになりました。そのため会場で配布した入金額から30万円を差し引いた金額になっております。その旨、ご了解願います。

出金

広報費	100,668
通信費	141,272
立木トラスト運動費	214,362
会場費	6,090
講演会費	63,490
事務費・雑費	65,496
合計	591,378
次年度繰越	380,987

2016年予算案

入金		出金	
摘要	金額	摘要	金額
前年度繰越金	380,987		
会費 @1,000×200人	200,000	広報費	150,000
		通信費	150,000
立木トラスト参加費 @500円×100人	50,000	立木トラスト運動費	300,000
カンパ	69,013	講演会費(会場費を含む)	20,000
		事務費・その他	80,000
合計金額	700,000	合計金額	700,000



第10回総会が毎日新聞に掲載されました。以下は記事の全文です。

毎日新聞 愛知版 2016年7月26日(火) 23面

設楽ダム予定地周辺に断層発見 「中止求める会」総会

「設楽ダムの建設中止を求める会」(豊橋市)の第10回総会が23日、新城市内で開かれた。市野和夫代表(70)は、2014年から続けてきた市民調査の結果、設楽町のダム建設予定地周辺で「国に報告されていない断層を発見した」と報告。「活断層ならダムの完成後に漏水、岩盤崩壊の恐れがある」と指摘し、現在行っている予定地内の立木トラスト運動に加え、土地トラスト運動も検討しダムの建設中止を求めていくことを確認した。

断層は市野代表が今年3月、設楽町清崎の道路工事現場ののり面で沓掛俊夫・愛知大名誉教授ら3人の地質学の専門家とともに発見した。ダム建設予定地を東西方向に横切っているという。【吉富裕倫】



河川行政の大転換を～紀伊・広島・常総・台風10号の教訓

と題してジャーナリストのまさのあつこさんがヤフーニュースに投稿されています。その抜粋です。当会の伊奈副代表のコメントが掲載されています。

【右表は2017年度概算要求（国土交通省治水課より筆者聞き取り）＊は水資源機構事業】

常総水害から1年、「河川行政」に変化は見られない。表は、国土交通省治水課に取材した2017年度概算要求額である。「ダムにたよらない治水」検証で継続または検証中の事業のごく一部である。

来年度予算、不要ダムより災害復旧に

2000年に2110億円で完成予定だったハッ場ダムは2019年度、5320億円へと5度目の基本計画変更案を伴い、「ハッ場ダムをストップさせる茨城の会」の神原禮二さんは「今をときめくアベノミクスの目的は2%のインフレでしたが、ハッ場ダムはハイパーインフレです！」と揶揄する。

2020年に2070億円で完成予定だった設楽ダムは、2026年に2400億円で基本計画案が出ている。「設楽ダムの建設中止を求める会」副代表の伊奈紘さんは

「設楽ダムは不要不急です。予定地周辺の地盤が弱い弱な上に、国の天然記念物で絶滅危惧種のネコギギが絶滅に向かいます。川を流れ下るはずの砂礫が止められ、三河湾のアサリが打撃を受けます。そんな絶対に造ってはいけないダムに予算をつけるより、地震や台風、大雨の被災地復旧に充てるべきだ」と訴える。

また、検証中の「木曽川水系連絡導水路事業」の建設中止を求める「導水路はいらない！愛知の会」の加藤伸久共同代表は、「愛知県・名古屋市では長良川河口堰など未使用の用水を抱え、徳山ダムから水を引く導水路は不要です。想定外の自然災害で多くの人が苦しむ時代、総額890億円もの導水事業は1日も早く中止を決め、その予算を災害復旧に回すべきだ」と利水事業のムダもあると訴える。

ダム等事業	予算（億円）
平取ダム	60.19
サンルダム	51.81
成瀬ダム	69.6
鳥海ダム	21.27
霞ヶ浦導水	12.53
ハッ場ダム	346.11
思川開発(*)	27.66
木曽川水系連絡導水路(*)	2.6
設楽ダム	67.26
足羽川ダム	52.4
大戸川ダム	13.51
川上ダム(*)	21.99
山鳥坂ダム	29.3
立野ダム	48.38
城原川ダム	3.59

●豊橋市まちづくり出前講座を開催します！ 豊川流域自然学校からのお知らせ



講座名 豊川用水と地域農業の発展

日時 2016、10月28日（金）夜6：45～8：45

会場 豊橋市民文化会館第3会議室

豊橋農業の発展を支えてきたと言われる豊川用水の歴史を学びます。講師は豊橋市農業企画課の職員の方です。誰でも参加できます。無料。知っているようで知らない豊川用水について「そもそも」というところから話してもらいます。秋の夜長、一緒に勉強しませんか。



設楽ダムの建設中止を求める会：<http://www.nodam.org/>

代表 市野和夫 ichinok7@mx3.tees.ne.jp

事務局 奥宮芳子 〒440-0069 豊橋市御園町1-3 0532-54-7305 okumiya@xj.commufa.jp